

巻末資料

川崎港の概要

沿 革

川崎港が誕生する以前の昔の海岸線は、多摩川の堆積土砂によって形成されたもので、その遠浅の砂州海浜を利用して渡田・大師地区の漁業者が、海苔、貝類の採取により生計を営んでいた。江戸時代の後期から明治中頃まで池上幸豊らにより多くの新田開発が進められ、池上新田、田辺新田、大島新田、小島新田、夜光新田などが干拓された。

その後、欧米諸国を視察した浅野総一郎が工業立地の必要性から、砂州海浜を利用した埋立土地造成事業を立案し、明治45年に渋沢栄一、安田善次郎らと鶴見埋立組合（現在の東亜建設工業(株)）を創設して、明治から大正年間にかけて浅野町、南渡田町、白石町、大川町、扇町等の土地を造成し、電力業、鉄鋼業、セメント業等、京浜工業地帯の中核をなす臨海工場群を誘致し、工業港としての基礎を築いた。

このように民業から出発した港湾建設事業に対し、神奈川県が昭和12年から総事業費2,180万円の10箇年計画で、現在の水江町から浮島町までの約512ヘクタールの京浜工業地帯造成事業に着手し、第一区（水江町）、第二区（夜光町の一部）を完成させ、第三区の千鳥町地区造成途中のところ、第2次世界大戦の影響により京浜工業地帯造成事業が中断し終戦を迎えた。

川崎港の設立は、昭和25年に港湾法が制定されたのに伴い、翌26年6月1日、同法の規定に基づき川崎市が港湾管理者となり、名実ともに川崎港が誕生し、同年9月22日には特定重要港湾に指定された。

その後の川崎港の港湾開発は、昭和31年4月の港湾審議会の議を経て、戦争で中断した神奈川県の京浜工業地帯（浮島町と千鳥町部分）の造成事業を、浮島町部分は神奈川県が、千鳥町部分は川崎市がそれぞれ埋立権者となって継続することとなった。

浮島町と千鳥町東側の造成地には石油コンビナート等を誘致し、千鳥町西側を公共ふ頭として整備することになり、併せて大型船の入港を可能にするため、防波堤を延長して川崎航路を新設し京浜運河の水深を-12mに浚渫する等の施設整備を行った。

川崎港における公共ふ頭建設は、昭和22年、食糧危機解消のために国策として燐鉱石輸入施設として千鳥町に物揚場建設を決定したことが始まりであり、川崎港の機能は戦前から、国の富国政策の一環として、工業港の機能充実を重点に整備されてきた。そこに「商港機能」の充実を加えて、国際貿易港としてさらに発展させるために、千鳥町地先に昭和47年度から総事業費1,115億円の継続事業として、約443ヘクタールの東扇島埋立造成事業を進め、平成2年3月にこの埋立工事は完成した。

東扇島ふ頭の施設整備は、千鳥町と東扇島を結ぶ、往復4車線の海底トンネルが、昭和54年10月に供用開始され、その後、本格的に施設整備された。東扇島バースは、平成9年10月までに、外貿10バース（うちコンテナ1バース）、内貿15バース、計25バースが供用開始された。

また、東扇島地区に平成3年より整備を開始した、外貿コンテナ埠頭が平成8年4月に供用開始となった。背後地においては、平成10年4月に流通加工設備を備えた総合物流センターであるかわさきファズ物流センターが事業を開始したほか、平成19年に策定された東扇島総合物流拠点地区形成計画に基づき、コンテナターミナルと近接している特徴を活かした高機能物流施設が立地している。

平成16年7月「改正SOLA条約」（ソーラス条約＝海上における人命の安全を確保する国際条約、1980年批准）が発効し、国内では「国際船舶・港湾保安法」が施行された。川崎港では、外国からの船舶が利用する埠頭の出入り管理の強化を図り、フェンス・ゲートの保安設備を整備するとともに、24時間体制での監視や船舶による巡視を行って、テロ行為や犯罪行為を未然に防ぐ保安対策を実施している。

川崎港の拠点施設としては平成4年3月に川崎市港湾振興会館（愛称:川崎マリエン）がオープンし、また、市民のための憩い場として平成16年4月に東扇島西公園が開園したほか、災害時には基幹的広域防災拠点としての機能を発揮する東扇島東公園が、平成20年4月に開園した。

浮島町地先においては、都市廃棄物、浚渫土砂、公共事業建設発生土等約1,500万 m^3 を埋立処分するために昭和50年度から事業費394億円をもって92.5ヘクタールの廃棄物処分場の工事に着工した。この場所には昭和53年度から処分を開始し、平成8年3月31日に埋立が完了した。また当該地は、交通機能用地等として、東京湾岸線及び平成9年12月に開通した東京湾横断道路（アクアライン）、さらに川崎縦貫道路のジャンクションとして、京浜間と千葉県を結ぶ物流の結接点として、重要な位置を占めている。

さらに、当処分場地先に約73ヘクタールの浮島2期廃棄物埋立の免許を平成6年12月に取得し、平成7年3月より埋立護岸の建設に着手した。

川崎港は、東京港、横浜港とともに京浜港として平成22年8月に国際コンテナ戦略港湾に選定され、平成23年4月には港湾法改正により、国際戦略港湾に指定された。また、平成28年3月に横浜川崎国際港湾株式会社が港湾運営会社の指定を受け、横浜港と川崎港のコンテナターミナルの一体的な管理・運営を始めた。

今日の川崎港は、首都圏の拠点都市である川崎市を背後に擁し、東南アジア航路や中国、韓国航路のコンテナ船が寄港するなど、京浜港の一翼を担う国際貿易港であるとともに、多様な内貿易を取り扱う国内輸送拠点港である。また、京浜工業地帯の中核を成す工業港であり、鉄鋼関連、自動車関連など様々な産業が集積する輸出入拠点、生産拠点として、さらに、石油化学コンビナート、LNG発電所など、各種エネルギー関連産業が集積するエネルギー拠点として、首都圏の産業活動と住民生活を支える重要な役割を担っている。

自然状況

1 地 勢

川崎市は神奈川県の大東部に位置し、北は多摩川を境にして東京都に相對し、西南は横浜市および東京都町田市に接し、東南は東京湾中部の西岸に面している。

市域は東西に細長く南北に狭く、東西は31.46km、南北は19.23kmで多摩川沿いの平地を隔てて丘陵地帯が西北部に走り、東南部一帯は多摩川のデルタ地帯で平地が展開して海岸に達し、市域面積は144.35 km^2 となっている。

2 地 質

川崎港の地質は、多摩川を流下した堆積土砂を母体とした沖積層によって構成されており、川崎港の中心位置である千鳥町での地表から30～31mの間のボーリングの結果資料によると、その性状は砂5～55%、シルト20～40%、粘土20～60%、含水比率30～80%、間隙比1～2、塑性限界20～50%、液性限界40～110%、圧縮強度0.8～2 kg/m^2 程度となっている。

管 理 状 況 （令和2年3月31日現在）

1 位 置

川崎港の位置は東京湾の西北部にあり、西側を横浜港（陸路11km、海路2カイリ）、北側を東京港（陸路18km、海路10カイリ）に接している。

2 港湾区域の範囲及び面積

範 囲	面 積
川崎市川崎区大川町と横浜市鶴見区安善町との境界運河（境運河）の河口中央の地点、同地点から151度30分3,460メートルの地点、同地点から126度2,310メートルの地点、旧多摩川口羽田灯標（北緯35度32分6.7秒、東経139度47分35.9秒）から136度5,150メートルの地点及び多摩川口における行政区画境界線終点を順次結んだ線と陸岸により囲まれた海面並びに境運河（行政区画境界線以東）白石運河、田辺運河、南渡田運河、浅野運河、池上運河、桜堀運河、入江崎運河、水江運河、塩浜運河、夜光運河、千鳥運河、大師運河、末広運河及び多摩運河の各運河水面、川崎市川崎区白石町2番地、同浅野町1番地、同夜光3丁目1番地、同夜光1丁目1番地、同浮島町100番地の各地先水面及び観音川入江橋下流の河川水面、川崎市川崎区殿町南東端（北緯35度32分12秒、東経139度46分1秒）から43度30分に引いた線より下流の多摩川河川水面（行政区画境界線以西）。	3,298.9

3 臨港地区及びその区分

区 分	指 定 領 域	面 積	
商港区	川崎市川崎区千鳥町、浮島町、東扇島の各一部に指定	約361.9	合 計 約2,053.2
工業港区	川崎市川崎区扇島、扇町、水江町及び大川町の全区域と浅野町、池上町、浮島町、小島町、白石町、千鳥町、殿町3丁目、南渡田町、東扇島、夜光1丁目、夜光2丁目及び夜光3丁目の各一部に指定	約1,668.9	
修景厚生港区	川崎市川崎区東扇島の一部に指定	約22.4	

施設現況（令和2年3月31日現在）

1 水域施設

航路

名称	区域	水深
川崎航路	「港則法による航路」 川崎信号所（以下A地点という。）から202度70メートルの地点から115度255メートルの地点まで引いた線及び同地点から98度1,950メートルの地点まで引いた線とA地点から202度420メートルの地点から102度265メートルの地点まで引いた線及び同地点から118度1,350メートルの地点まで引いた線との間の海面。（港則法施行規則）	-12.0m

2 外かく施設

(1) 防波堤

名称	位置	延長
北防波堤	川崎区浮島町南西端地先	259.59m
東扇島防波堤	川崎区東扇島地先	3,339.91m
東扇島波除堤	川崎区東扇島地先	350.00m
南防波堤	川崎区東扇島地先	607.64m

(2) 防潮堤

設置地区	延長
白石町	1,509.99m
南渡田町	1,238.99m
浅野町	1,074.62m
池上町	1,481.70m
夜光3丁目	1,392.10m
夜光2丁目	1,060.74m
夜光1丁目	1,382.69m
小島町	1,625.26m
殿町3丁目	317.93m
合計	11,084.02m

3 臨港交通施設

(1) 道路

名 称	延 長	道路敷幅	名 称	延 長	道路敷幅
千鳥町地区			中5号道路	277m	18.0m
東船溜道路	556m	9.0m	中6号道路	161m	18.0m
西船溜道路	630m	15.0m	外貿1号道路	155m	22.1m
北部けい船岸道路	511m	15.0m	外貿2号道路	155m	18.0m
ふ頭1号線道路	674m	25.0m	外貿3号道路	155m	18.0m
ふ頭2号線道路	153m	18.0m	外貿4号道路	147m	18.0m
ふ頭3号線道路	153m	18.0m	外貿5号道路	414m	19.5m
ふ頭4号線道路	153m	18.0m	外貿6号道路	426m	18.0m
ふ頭5号線道路	712m	25.0m	外貿7号道路	298m	18.0m
ふ頭6号線道路	152m	18.0m	外貿8号道路	137m	18.0m
港務所周辺道路	114m	10.0m	外貿9号道路	293m	18.0m
港務所前道路	1,089m	25.0m	外貿10号道路	293m	18.0m
けい船岸道路	1,300m	18.0m	内貿1号道路	143m	18.0m
南船溜道路	535m	15.0m	内貿2号道路	155m	18.0m
南部けい船岸道路	153m	15.0m	内貿3号道路	155m	18.0m
千鳥町換気所周辺道路	1,052m	18.0m	内貿4号道路	144m	18.0m
川崎港海底トンネル	2,180m	40.1m	内貿5号道路	144m	18.0m
中央線道路	1,069m	25.0m	内貿6号道路	144m	18.0m
			緑地前道路	459m	18.0m
東扇島地区			船溜道路	477m	18.0m
川崎港海底トンネル東扇島取付道路	132m	21.8m	換気所前緑地道路	117m	9.5m
幹線1号道路	1,202m	25.0m	南岸道路	1,630m	18.0m
幹線2号道路	812m	25.0m	北岸1号道路	374m	18.0m
幹線3号道路	1,259m	25.0m	北岸2号道路	1,087m	18.0m
幹線4号道路	546m	25.0m	1号バース道路	56m	18.0m
幹線5号道路	1,936m	25.0m	2号バース道路	49m	18.0m
中1号道路	506m	18.0m	3号バース道路	60m	18.0m
中2号道路	409m	18.0m	4号バース道路	60m	18.0m
中3号道路	475m	12.5m	5号バース道路	60m	18.0m
中4号道路	804m	9.5m	6号バース道路	60m	18.0m

名 称	延 長	道路敷幅
7号バス道路	60m	18.0m
8号バス道路	60m	18.0m
9号バス道路	60m	18.0m
20号バス道路	68m	18.0m
22号バス道路	68m	18.0m
23号バス道路	74m	18.0m
24号バス道路	74m	18.0m
25号バス道路	73m	18.0m
26号バス道路	68m	18.0m
27号バス道路	68m	18.0m
28号バス道路	68m	18.0m
29号バス道路	68m	18.0m
30号バス道路	68m	18.0m
31号バス道路	68m	18.0m
コンテナ道路	1,410m	18.0m
11.5m道路	70m	11.5m
-4.5mバス道路	35m	18.0m
8m緑地道路	192m	8.0m
浮島・小島地区		
国道409号線	2,728m	25.0m
浮島町第1号線	1,272m	12.0m
浮島町第2号線	1,462m	14.0m
小島町第6号線	90m	4.0m
小島町第7号線	85m	2.0m
小島町第8号線	118m	6.0m
夜光地区		
夜光第1号線	148m	8.0m
夜光第2号線	207m	20.0m

名 称	延 長	道路敷幅
水江地区		
梶橋水江線	1,411m	25.0m
水江町第1号線	622m	12.0m
水江町道路	20m	48.0m
扇町地区		
県道扇町川崎停車場線	905m	15.0m
扇町第1号線	264m	10.9m
扇町第2号線	750m	14.5m
扇町第3号線	955m	10.0m
扇町第4号線	69m	7.2m
扇町第5号線	356m	11.0m
扇町第6号線	79m	7.2m
白石町地区		
白石町第2号線	338m	10.9m
白石町第3号線	490m	9.0m
大川町地区		
大川町第1号線	341m	10.9m
大川町第2号線	305m	7.2m
大川町第3号線	427m	7.2m
大川町第4号線	902m	14.0m
大川町第5号線	191m	12.0m
大川町第6号線	273m	12.0m
大川町第7号線	315m	14.0m
池上町地区		
臨港道路東扇島水江町線	790m	25.0m

(2) 鉄 道

経 営	線路名称	起点駅名と主要臨港駅	距 離	
東日本旅客鉄道（株）	鶴見線	（大川支線） 安善駅（横浜市） ～	日本鑄造	1.0km
			三和倉庫	1.0km
			日本硝子	1.6km
			日清製粉	1.7km
			昭和電工	1.7km
		扇町駅 ～	三井埠頭	0.7km
			新日本石油	0.7km
			東亜石油	0.8km
			昭和電工	0.9km
浜川崎駅 ～	JFE スチール渡田	0.4km		
	JFE スチール池上	2.5km		
	JFE スチール水江	3.0km		
	デイ・シイ	1.0km		
	東亜石油	1.3km		
	東洋埠頭	1.3km		
神奈川臨海鉄道（株）	浮島線	未広町駅	2.9km	
		浮島町駅	3.9km	
	千鳥線	千鳥町駅	6.9km	

(3) 運 河

名 称	位 置	幅 員	延 長	水 深
京浜運河	川崎区大川町南岸地先から 川崎区浮島町西岸地先まで	600m～700m	6,150m	-2m～-12m
境運河	川崎区大川町西岸地先から 川崎区白石町西岸地先まで	65m	1,280m	-3m～-4m
白石運河	川崎区白石町南岸地先から 川崎区白石町東南岸地先まで	65m	630m	-1m～-3m
田辺運河	川崎区扇町西岸地先から 川崎区南渡田町南岸地先まで	180m	1,300m	-5m～-10m
南渡田運河	川崎区南渡田町南岸地先から扇橋まで	70m～140m	980m	-3m～-7m
浅野運河	川崎区浅野町南岸地先から扇橋まで	90m	650m	-2m～-6m
池上運河	川崎区扇町東岸地先から 川崎区浅野町東岸地先まで	130m～200m	1,710m	-8m～-10m
桜堀運河	池上運河終端から桜橋まで	50m	550m	-1m～-4m
入江崎運河	川崎区池上町西岸地先から入江橋まで	60m～80m	460m	-1m～-6m
水江運河	川崎区水江町北岸地先から 川崎区水江町中央道路東岸地先まで	150m	750m	-2m～-4m
塩浜運河	川崎区水江町東岸地先から 川崎区夜光南岸地先まで	280m	1,340m	-3m～-12m
夜光運河	川崎区夜光東岸地先から汐留橋まで	35m～40m	300m	-1m～-2m
千鳥運河	塩浜運河終端から 川崎区千鳥町北岸まで	130m～150m	1,120m	-2m～-4m
大師運河	京浜運河端から 千鳥、末広、多摩各運河の発端まで	350m	2,200m	-9m
末広運河	大師運河終端から 小島新田物揚場前面まで	75m～290m	540m	-2m～-4.5m
多摩運河	大師運河終端から多摩川河口先まで	100m	880m	-2m
扇島水路	京浜運河端から湾岸道路端まで	70m	640m	-1m～-3m

4 航行補助施設

(1) 航路標識

- 灯 台 2基（川崎東扇島防波堤西灯台、川崎東扇島防波堤東灯台）
 灯 標 2基（川崎航路 2基）
 灯浮標 3基（多摩川 1基、川崎航路 2基）

(2) 通信及び信号の機関

機 関 名 称	所 在 地	業 務 の 概 要
東京湾海上交通センター 横浜船舶通航信号所 呼称「とうきょうマーチス」	横浜市中区北仲通 5-57 横浜第二合同庁舎	京浜港川崎区（川崎港）を含む東京湾及び付近海域を航行する船舶のための「航行援助施設」として次の業務を行っている。 ・航行管制 港内8か所（横浜市2か所を含む。）の信号所に設置された電光文字式信号板を使用し、航路及び京浜運河を航行する船舶の管制を行っている。 ・情報提供等 無線電話・AIS・インターネットホームページ・電話による船舶の交通の制限または禁止の状況、船舶交通の障害の発生状況等に関する情報提供のほか、港則法に基づく勧告、指示を行っている。 VHFによる場合、13、14、16、66、69の各CHを使用する。
(株) 東洋信号通信社 川崎事務所	川崎区東扇島 38-1	船舶動静把握業務及び船舶情報収集業務
(株) 東洋信号通信社	横浜市鶴見区 大黒ふ頭22 横浜港流通センター 1812室	港務通信業務及び船舶動静把握業務 東京湾を利用する船舶への役務提供業務の一環として、東京湾内の5港湾管理者（東京、横浜、千葉、横須賀、川崎）と東京湾水先区水先人会が国際海上VHFの多重免許を受け、7CH、11CH、12CH、14CH、16CH、18CH、19CH、20CH、64CH、68CHを利用して港務通信業務を運営している。

5 船舶役務用施設

(1) 給水施設（公共）

名 称	数 量	能 力
自動給水器	2基	20～30t/h
岸壁給水	1か所	－

(2) 令和元年船舶給水利用状況（公共）

（単位：トン）

区 分	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
自動給水	2,693	327	340	407	190	127	195	207	179	205	177	150	189
岸壁給水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運搬給水	10,415	591	1,008	753	690	1,068	756	952	1,169	1,053	787	695	893
合 計	13,108	918	1,348	1,160	880	1,195	951	1,159	1,348	1,258	964	845	1,082

6 港湾厚生施設

(1) 休泊所

ア 宿泊施設

名 称	川崎海員会館	川崎港湾福利厚生協会桜本寮
主な利用対象者	船舶乗組員及び家族他海事関係者	港湾労働者
所在地及びTEL	川崎区大島2-11-5 TEL：044-233-5896	川崎区桜本1-2-29 TEL：044-288-5915
運 営	（一財）日本船員厚生協会	（一財）川崎港湾福利厚生協会
施設内容	宿泊室 本館 28室 新館 7室 定員 70名 食堂、浴室	宿泊室 50室 定員 50名
建 物	敷地面積	1,926㎡
	延床面積	1,763㎡
構造及び棟数	鉄筋コンクリート造3階建 1棟 鉄筋コンクリート造2階建 1棟	鉄筋コンクリート造4階建 1棟

イ 令和元年施設利用状況

(単位：人)

施設名称	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
川崎海員会館	11,644	973	1,068	934	997	1,140	660	906	956	997	1,137	968	908
内	208	79	59	21	15	1	7	9	6	4	4	2	1
海員・家族													
海事関係	11,436	894	1,009	913	982	1,139	653	897	950	993	1,133	966	907
港湾労働者桜本寮	15,377	1,285	1,204	1,333	1,288	1,334	1,318	1,301	1,274	1,260	1,302	1,231	1,247

ウ 休憩所（利用対象者＝港湾労働者）

施設名称	施設運営者名	施設概要	
扇町第一休憩所	(一財) 川崎港湾福利厚生協会 住所 川崎区扇町9-1 (三井埠頭内) TEL：044-333-5311	敷地面積	471㎡
		延床面積	471㎡
		構造	鉄骨造 2階建 1棟
		施設内容	休憩室 浴室
扇町第二休憩所	(一財) 川崎港湾福利厚生協会 住所 川崎区扇町13-1 (東洋埠頭内) TEL：044-333-3521	敷地面積	342㎡
		延床面積	469㎡
		構造	鉄骨造 2階建 1棟
		施設内容	休憩室、浴室、理容室
扇町第三休憩所	(一財) 川崎港湾福利厚生協会 住所 川崎区扇町9-1 (三井埠頭内) TEL：044-333-5311	敷地面積	240㎡
		延床面積	210㎡
		構造	鉄骨造 2階建 1棟
		施設内容	休憩室
東扇島4号岸壁 休憩所	(一財) 川崎港湾福利厚生協会 住所 川崎区東扇島32-3 (東扇島4号岸壁)	敷地面積	169㎡
		延床面積	50.78㎡
		構造	鉄骨造 1階建 1棟
		施設内容	休憩室
東扇島8号岸壁 作業員休憩所	(一財) 川崎港湾福利厚生協会 住所 川崎区東扇島38-3 (東扇島8号岸壁)	敷地面積	545㎡
		延床面積	55㎡
		構造	鉄骨造 平屋建
		施設内容	休憩室
千鳥6号岸壁 休憩所	(一財) 川崎港湾福利厚生協会 住所 川崎区千鳥6-2 (千鳥6号岸壁)	敷地面積	127.88㎡
		延床面積	45.75㎡
		構造	鉄骨造 1階建 1棟
		施設内容	休憩室

(2) その他福利厚生施設

施設名称	施設運営者名	施設概要	
桜本センター	(一財)川崎港湾福利厚生協会 住所 川崎区桜本1-2-29 TEL : 044-288-5915	敷地面積	1,085㎡
		延床面積	1,101㎡
		構造	鉄筋コンクリート造 3階建 1棟
		施設内容	会議室、理容室、浴室 ホール、その他
千鳥センター	(一財)川崎港湾福利厚生協会 住所 川崎区千鳥町20-2 TEL : 044-266-3324	敷地面積	1,248㎡
		延床面積	本館583㎡ 別館196㎡
		構造	本館 鉄筋コンクリート造 2階建 1棟 別館 コンクリートブロック造 2階建 1棟
		施設内容	会議室、休憩室 食堂、事務室
東扇島福利厚生センター	(一財)川崎港湾福利厚生協会 住所 川崎区東扇島78 TEL : 044-287-0024	敷地面積	3,016㎡
		延床面積	本館981㎡ 新館531.59㎡
		構造	本館 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 3階建 1棟 新館 鉄筋造 2階建 1棟
		施設内容	本館 休憩室、食堂、理容室 診療所、事務室 新館 売店、会議室、事務室

7 港湾関係主要官公署（市内）

名 称	所 在 地	電 話 市外局番044
川崎市港湾局	川崎市川崎区宮本町1番地	200-2111
川崎港管理センター	〃 東扇島38番地1（港湾振興会館）	287-6027
横浜税関川崎税関支署	〃 千鳥町11番1号	266-5621
横浜税関川崎税関支署東扇島出張所	〃 東扇島38番地1（港湾振興会館）	287-6195
東京検疫所川崎検疫所支所	〃 東扇島6番地10 （かわさきファズ物流センター内）	277-1856
関東運輸局川崎海事事務所	〃 千鳥町12番3号	266-3878
川崎海上保安署	〃 千鳥町12番3号	266-0118
川崎臨港警察署	〃 池上新町2丁目17番14号	266-0110
川崎臨港消防署	〃 池上新町3丁目1番5号	299-0119
ハローワーク川崎	〃 南町17番2号	244-8609

8 港湾関係団体

名 称	所 在 地	電 話 市外局番044
川崎商工会議所	川崎市川崎区駅前本町11番地2 川崎フロンティアビル3階	211-4111
(一財)川崎港湾福利厚生協会	〃 東扇島78番地1	288-5915
(公社)川崎清港会	〃 千鳥町15番9号	299-3477
(公社)川崎港振興協会	〃 東扇島38番地1	287-6001
川崎港運協会	〃 東扇島38番地1	287-6092
(株)東洋信号通信社川崎事務所	〃 東扇島38番地1	287-6021
かわさきファズ(株)	〃 東扇島6番地10	272-2050
川崎臨港倉庫埠頭(株)	〃 千鳥町7番地1	266-8993
横浜川崎曳船(株)	横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル8階	045-651-4321

9 その他港湾関係業者

許可業種別事業者	許可業種別事業者
一般港湾運送事業 39 社	検数事業 4 社
港湾荷役事業 17 社	鑑定事業 3 社
船内荷役事業 12 社	検量事業 4 社
沿岸荷役事業 27 社	はしけ運送事業 8 社
港湾運送関連事業 36 社	

※港湾運送事業者 95 社（川崎港運協会加盟店社）

10 主な川崎港内の係留施設現況 (令和2年9月1日現在)

管 理 者 名	係 船 能 力								
	施 設 名 称	取付け部 含む実延長 (m)	取付け部 除く総延長 (m)	水深 (-m)		重量トン (D/W)	船席	種類	エプロン 幅 (m)
				所定	現在				
川崎市 (港湾管理者)									
千鳥町地区									
	千鳥町1号係船岸壁	120.0	120.0	7.3	7.3	3,000	1	栈橋	15.1
	千鳥町2号係船栈橋	171.7	171.7	9	9	10,000	1	栈橋	15.4
	千鳥町3号係船栈橋	190.0	190.0	10	10	15,000	1	栈橋	16.6
	千鳥町4号係船岸壁	219.5	219.5	10	10	15,000	1	岸壁	15
	千鳥町5号係船栈橋	211.1	211.1	10	10	15,000	1	栈橋	25
	千鳥町6号係船栈橋	208.6	208.6	10	10	15,000	1	栈橋	25
	千鳥町7号係船栈橋	180.0	180.0	10	10	15,000	1	栈橋	25
	千鳥町A B C物揚場	331.5	331.5	4.5	4.5	1,000	3	栈橋	14.1
	千鳥町北西物揚場	298.0	298.0	3	3			物揚場	10
	千鳥町北物揚場	155.5	155.5	2	2			栈橋	9
東扇島地区									
	川崎コンテナ1号岸壁	440.0	431.0	14	14	50,000	1	栈橋	20
	東扇島1号岸壁	235.1	185.0	10	10	15,000	1	岸壁	20
	東扇島2号岸壁	206.2	185.0	10	10	15,000	1	岸壁	20
	東扇島3号岸壁	261.2	240.0	12	12	30,000	1	岸壁	20
	東扇島4号岸壁	240.0	240.0	12	12	30,000	1	岸壁	20
	東扇島5号岸壁	240.0	240.0	12	12	30,000	1	岸壁	20
	東扇島6号岸壁	240.1	240.1	12	12	30,000	1	栈橋	20
	東扇島7号岸壁	240.0	240.0	12	12	30,000	1	栈橋	20
	東扇島8号岸壁	240.0	240.0	12	12	30,000	1	栈橋	20
	東扇島9号岸壁	270.0	240.0	12	12	30,000	1	栈橋	20
	東扇島21号岸壁	130.0	130.0	7.5	7.5	5,000	1	栈橋	22
	東扇島22号岸壁	130.0	130.0	7.5	7.5	5,000	1	栈橋	22
	東扇島23号岸壁	130.0	130.0	7.5	7.5	5,000	1	栈橋	22
	東扇島24号岸壁	130.0	130.0	7.5	7.5	5,000	1	栈橋	22
	東扇島25号岸壁	130.0	130.0	7.5	7.5	5,000	1	栈橋	22
	東扇島26号岸壁	130.0	130.0	7.5	7.5	5,000	1	栈橋	22
	東扇島27号岸壁	130.0	130.0	7.5	7.5	5,000	1	栈橋	22
	東扇島28号岸壁	130.0	130.0	7.5	7.5	5,000	1	栈橋	22
	東扇島29号岸壁	130.0	130.0	7.5	7.5	5,000	1	栈橋	22
	東扇島30号岸壁	130.0	130.0	7.5	7.5	5,000	1	栈橋	22
	東扇島31号岸壁	130.0	130.0	7.5	7.5	5,000	1	栈橋	22
	東扇島A号岸壁	75.0	60.0	4.5	4.5	700	1	岸壁	15
	東扇島B号岸壁	60.0	60.0	4.5	4.5	700	1	岸壁	15
	東扇島C号岸壁	60.0	60.0	4.5	4.5	700	1	岸壁	15
	東扇島D号岸壁	75.0	60.0	4.5	4.5	700	1	岸壁	15

管 理 者 名	係 船 能 力								
	施 設 名 称	取付け部 含む実延長 (m)	取付け部 除く総延長 (m)	水深 (-m)		重量トン (D/W)	船席	種類	エプロン 幅 (m)
				所定	現在				
	夜光物揚場	306.6	306.6	4	4			物揚場	14
	小島新田物揚場	145.6	145.6	4.5	4.5	700	2	栈橋	13
	末広物揚場	148.0	148.0	3	3			物揚場	15
	船溜岸壁	725.7	725.7	4.5	4.5			岸壁	30
	小型油槽船								
	千鳥町係留栈橋	9.0	318.6	3	3			係船くい	
	夜光係留栈橋	117.0	250.0	4	4			係船くい	
	塩浜係留護岸	123.1	113.1	3	3			物揚場	
	旭化成(株)川崎製造所								
	第1号栈橋	16.8	32.5	5.1	5.1	1,900	1	栈橋	
	第2号栈橋	25.0	32.0	5.5	5.5	2,000	1	栈橋	
	第3号栈橋	21.0	30.0	5	5	1,200	1	栈橋	
	出光興産(株)京浜ルプセンター								
	川崎1号栈橋	47.0	103.0	10	9	20,000	1	栈橋	
	川崎2号栈橋	16.0	23.5	4.9	4.9	1,300		栈橋	
	川崎3号栈橋	15.7	16.9	5	5	1,000	1	栈橋	
	川崎0号栈橋	10.0	10.0	3.5	3.5	350		栈橋	
	花王(株)川崎工場								
	第1川崎岸壁	28.4	28.4	3.9	3.9	300		物揚場	
	第2川崎岸壁	85.3	85.3	3	3	500		物揚場	10
	川一産業(株)								
	1,500D/W栈橋	12.0	28.1	6	6	1,500	1	栈橋	
	川崎アスコン共同企業体								
	川崎アスコン水江町岸壁	91.1	91.1	6	6	15,000	1	岸壁	
	川崎化成工業(株)川崎工場								
	千鳥栈橋	24.2	54.0	9	8.9	10,000	1	栈橋	
	(協組)クリーンテクノかながわ								
	浮栈橋	13.3	13.3	2	2			浮栈橋	
	三和倉庫(株)								
	川崎専用栈橋	3.0	11.5	4	2			係船くい	1
	JFEスチール(株)東日本製鉄所								
	扇島東原料岸壁A	360.0	360.0	22	22	200,000	1	栈橋	
	扇島東原料岸壁B	240.0	240.0	18	18	100,000	1	栈橋	
	扇島東原料岸壁C	170.0	170.0	7.5	7.5	5,000	1	栈橋	
	扇島北本船岸壁	320.0	320.0	12	13.5	68,000	1	岸壁	
	扇島燃料Aバース	24.2	45.3	6	6	3,000	1	栈橋	
	扇島燃料Bバース	42.5	43.0	9	9	700	1	栈橋	
	扇町東岸壁	450.0	450.0	8	8		1	岸壁	
	水江西商品岸壁	84.0	84.0	4	4	1,300		物揚場	
	水江重油受入栈橋	2.8	22.9	4	4	300		栈橋	
	水江熱延ヤード	31.1	31.1	4.4	4.4			物揚場	

管 理 者 名	係 船 能 力								
	施 設 名 称	取付け部 含む実延長 (m)	取付け部 除く総延長 (m)	水深 (-m)		重量トン (D/W)	船席	種類	エプロン 幅 (m)
				所定	現在				
	水江廃残物処理栈橋	7.4	18.2	3.4	3.4			栈橋	
	池上南岸壁 (7-9棟)	82.8	82.8	3.9	3.9			物揚場	
J F E 物流(株)									
	大島埠頭岸壁	162.0	162.0	8	8	5,280	1	岸壁	
出光興産(株)川崎事業所									
	扇島1号栈橋	81.4	100.0	7.5	7.8	5,000	1	栈橋	
	扇島2号栈橋	71.4	90.0	7.5	7.3	3,000	1	栈橋	
	扇島3号栈橋	50.7	60.0	5	4.9	1,000	1	栈橋	
	池上1号栈橋	36.0	37.8	7	7.1	2,300	1	栈橋	
	池上2号栈橋	12.5	12.7	9	8.5	20,000	1	栈橋	
	池上3号栈橋	23.0	23.0	10	8.2	5,000	1	栈橋	
	池上4号栈橋	8.7	8.7	10.5	8.4	4,000	1	栈橋	
	池上5号栈橋	29.5	39.5	10	7.1	4,000	1	栈橋	
	池上6号栈橋	54.3	57.7	10	7.6	4,000	1	栈橋	
	油槽所1号栈橋	5.0	5.8	4.5	4.8	1,500	1	栈橋	
	油槽所2号栈橋	11.4	12.8	4.8	4.8	1,500	1	栈橋	
	油槽所3号栈橋	11.4	13.0	5.5	5.5	300	1	栈橋	
昭和電工(株)川崎事務所									
	扇町1号バース	39.8	39.8	5.4	5	800	1	栈橋	
	扇町2号バース	28.4	39.2	5.4	5	1,000	1	栈橋	
	扇町3号バース	37.0	37.0	4	4	400		物揚場	10
	扇町4号バース	44.9	44.9	5.4	5.4		1	栈橋	10
	扇町5号バース	138.8	138.8	7.4	7.3	3,000	1	栈橋	
	扇町6号バース	12.0	22.7	4.5	4.5	750	1	栈橋	
	扇町7号バース	3.2	16.6	3.5	3.5			栈橋	
	扇町8号バース	7.0	29.0	3.5	3.5			栈橋	
	千鳥栈橋	20.1	33.4	6	6	3,000	1	栈橋	
昭和物流(株)関東事業所									
	栈橋	44.0	89.0	5.5	5.5	2,000	1	栈橋	
E N E O S (株)川崎事業所									
	扇町第1栈橋	98.2	197.2	12	12	73,000	1	栈橋	
	扇町第1栈橋内側	42.0	42.0	4.5	4.5		1	栈橋	
	扇町第2栈橋	94.4	98.9	7.5	7.5	3,000	1	栈橋	
	扇町第2栈橋内側	28.0	28.0	4.5	4.5		1	栈橋	
	扇町第4栈橋	80.0	80.0	5	5	1,400	1	栈橋	
	扇町岸壁	70.0	70.0	4.5	4.5	500	1	岸壁	
	扇町物揚場	123.6	123.6	3.5	3.5	500		物揚場	
	工事資材用物揚場	24.1	24.1	3.5	3.5	500		物揚場	
E N E O S (株)川崎製油所									
	千鳥栈橋	26.1	44.5	7	6.5	3,000	1	栈橋	
	塩浜第1栈橋	28.8	73.3	4	4	500		栈橋	

管 理 者 名	係 船 能 力								
	施 設 名 称	取付け部 含む実延長 (m)	取付け部 除く総延長 (m)	水深 (-m)		重量トン (D/W)	船席	種類	エプロン 幅 (m)
				所定	現在				
	塩浜第2 栈橋	25.5	77.3	5	5	1,300	1	栈橋	
	塩浜第3 栈橋	25.5	77.3	5	5	1,300	1	栈橋	
	塩浜ガス栈橋	13.4	48.9	3.5	3	400		栈橋	
	浮島第1 栈橋	22.6	22.6	4	4	835		栈橋	
	浮島第2 栈橋	27.8	27.8	5	5	1,300	1	栈橋	
	浮島第3 栈橋	19.1	28.4	6	5	1,300	1	栈橋	
	浮島第4 栈橋	28.9	28.9	5	5	1,300	1	栈橋	
	浮島第5 栈橋	26.7	26.7	6	6	1,500	1	栈橋	
	浮島第6 栈橋	49.2	129.0	7.9	7.9	5,000	1	栈橋	
	浮島第7 栈橋	22.8	22.8	6	6	1,300	1	栈橋	
	浮島第10栈橋	15.6	29.1	6	6	2,000	1	栈橋	
	浮島本栈橋	36.8	88.2	12	12	62,000	1	栈橋	
ENEOS(株)千鳥事業所	A + B バース	119.1	119.1	12	11.2	42,000	1	栈橋	
セントラル硝子(株)	多摩川基地岸壁	79.1	79.1	5.5	3	1,300	1	岸壁	15.7
大王製紙(株)	岸壁	113.3	113.3	5	5	2,000	1	岸壁	9.7
大同特殊鋼(株)川崎工場	岸壁	60.0	60.0	2	1.9	300		物揚場	25
太平洋セメント(株)	栈橋	169.1	139.1	8	8	7,000	1	栈橋	
大陽日酸(株)京浜事業所	岸壁	190.5	190.5	5	5	1,000	1	岸壁	15
(株)デイ・シイ川崎工場	袋セメント船積 (A号)	0.6	6.9	3.5	3			係船くい	
	重油受入栈橋 (B号)	6.0	25.0	3.5	3			栈橋	
	原鋳栈橋 (C号)	22.0	22.0	3.5	3	450		栈橋	
	バラ船積栈橋 (D号)	11.0	18.0	3.5	3			栈橋	
	専用岸壁	162.0	162.0	9	9	10,750	1	岸壁	
第一コンクリート(株)京浜工場	栈橋	17.0	17.0	4	4	700		栈橋	
東亜石油(株)京浜製油所	第1工場第1 栈橋	6.7	6.7	11	11	5,000	1	栈橋	
	第1工場第2 栈橋	35.0	94.8	11	11	46,000	1	栈橋	
	第1工場第3 栈橋	24.7	31.4	11	11	5,000	1	栈橋	
	第2工場第4 栈橋	26.6	34.7	5.4	5.4	2,000	1	栈橋	
	第2工場第5 栈橋	25.1	37.2	5.4	5.4	2,000	1	栈橋	
	10号岸壁	80.0	80.0	5	5	1,500	1	栈橋	13.5
	東扇島1号栈橋	90.0	145.0	8.2	8.2	5,786	1	栈橋	
	東扇島2号栈橋	45.0	122.0	7.5	7.5	3,998	1	栈橋	

管 理 者 名	係 船 能 力								
	施 設 名 称	取付け部 含む実延長 (m)	取付け部 除く総延長 (m)	水深 (-m)		重量トン (D/W)	船席	種類	エプロン 幅 (m)
				所定	現在				
	東扇島3号栈橋	65.0	113.0	9.2	9.2	1,515	1	栈橋	
	東扇島0号栈橋	99.7	122.0	9.1	9.1	5,000	1	栈橋	
	京浜川崎シーバース			26	30	315,000	1	係船浮標	
東亜石油(株)・ENEOS(株) 川崎ガスターミナル									
	東亜・ENEOS1号岸壁	18.4	18.4	6	6	1,500	1	岸壁	
	東亜・ENEOS2号岸壁	13.9	13.9	6	6	1,250	1	岸壁	
	東亜・ENEOS3号岸壁	18.4	18.4	6	6	2,800	1	岸壁	
	東亜・ENEOS本栈橋	55.0	84.0	12	12	53,520	1	栈橋	
(株)JERA東扇島火力発電所									
	(株)JERA扇島LNGバース	178.6	464.1	14	16.3	109,662	1	栈橋	
	(株)JERA扇島バンカー油バース	65.8	129.9	7.5	17.6	3,500	1	栈橋	
東京油槽(株)									
	第1栈橋	58.0	97.0	12	12	60,000	1	栈橋	
	第2栈橋	32.2	38.4	5.6	5.6	2,000	1	栈橋	
	第3栈橋	49.5	49.5	3	3	300		栈橋	
東西オイルターミナル(株)川崎油槽所									
	専用栈橋	18.0	38.0	6	5	2,000	1	栈橋	
(株)東芝浜川崎工場									
	本船栈橋	19.0	30.7	6	5	2,000	1	栈橋	
	係留栈橋	2.0	36.0	6	5		1	係船くい	
ENEOS(株)川崎製油所									
	200号地								
	第1栈橋	88.8	88.8	12	12	68,000	1	栈橋	
	第2栈橋	34.4	36.2	8	6.5	5,000	1	栈橋	
	第3栈橋	35.2	36.1	8	6.5	5,000	1	栈橋	
	第4栈橋	32.8	34.0	6	6	1,500	1	栈橋	
	第5栈橋	30.8	31.6	6	6	1,000	1	栈橋	
	第6・7栈橋	55.4	55.4	5	4.5	1,000	2	栈橋	
	第8栈橋	25.0	25.0	4	4	300		栈橋	
	400号地								
	第41栈橋	30.4	31.2	7.3	7.3	2,000	1	栈橋	
	第42栈橋	77.2	87.3	7.3	7.3	5,000	1	栈橋	
	第43栈橋	30.5	37.3	7	6	3,000	1	栈橋	
	第44栈橋	42.7	47.0	8	7.3	7,500	1	栈橋	
	第45栈橋	30.3	30.3	5.5	5	2,000	1	栈橋	
	第46栈橋	25.3	25.3	4.7	4.7	500	1	栈橋	
	第47栈橋	34.1	37.7	5	4	1,000	1	栈橋	
	第48栈橋	20.3	20.3	4	4	300		栈橋	
	第49栈橋	20.3	20.3	4	4	300		栈橋	

管 理 者 名	係 船 能 力								
	施 設 名 称	取付け部 含む実延長 (m)	取付け部 除く総延長 (m)	水深 (-m)		重量トン (D/W)	船席	種類	エプロン 幅 (m)
				所定	現在				
100号地									
第1 栈橋	209.3	209.3	12	12	6,758	1	栈橋		
第2 栈橋	82.4	82.4	3.5	3.5	500		栈橋		
扇島西シーバース		385.0	17.3	25	115,567	1	栈橋		
扇島東シーバース	54.0	509.5	26	26	315,000	1	栈橋		
150号地									
A-1 栈橋	44.7	70.5	12	12	65,000	1	栈橋		
A-2 栈橋	34.4	39.2	8	8	5,000	1	栈橋		
B-1 栈橋	29.2	29.6	6.5	6.5	2,500	1	栈橋		
B-2 栈橋	27.0	31.1	6.5	6.5	2,000	1	栈橋		
B-4 栈橋	36.3	38.7	3.5	3.5	500		栈橋		
B-5 栈橋	25.0	25.0	6	6	300	1	栈橋		
東洋埠頭(株)川崎支店									
* 平行栈橋	365.5	388.8	12	12	20,000	2	栈橋		
ドロマイト岸壁	110.0	110.0	5.5	5	1,000	1	岸壁		
雑貨栈橋	295.6	295.6	9.5	9.5	10,000	2	栈橋	14	
内堀	370.0	370.0	3	3	1,000		物揚場		
骨材バース	56.0	56.0	5.5	5.5	499	1	岸壁		
日油(株)									
栈橋	16.6	26.1	5.6	5.6	1,902	1	栈橋		
日興サービス(株)									
川崎バース	84.0	84.0	4	4	700		物揚場		
(株)日新									
川崎栈橋	55.8	116.3	6	6	2,719	1	栈橋		
浮島栈橋	3.6	12.8	3	3	300		栈橋		
日清製粉(株)鶴見工場									
本船岸壁	51.4	223.3	12	12	50,000	1	栈橋	11	
境運河小型岸壁	212.5	212.5	3	3			物揚場		
(株)NIPPON									
小島町専用栈橋	34.7	80.1	7.5	7.5	5,000	1	栈橋		
セントラル・タンクターミナル(株)									
栈橋	45.4	69.4	11.4	10.4	19,000G/T	1	栈橋		
日本コンセプト(株)									
L・P・G 栈橋	20.0	20.0	3.5	3.5	700G/T		栈橋		
日本食塩製造(株)									
A 栈橋	12.5	27.3	4.7	4.7	800	1	栈橋		
B 栈橋	14.6	30.2	4.7	4.7	800	1	栈橋		
日本ダスト(株)									
栈橋	22.3	22.3	3.5	3			栈橋	13.5	
日本鑄造(株)									
荷役岸壁	30.0	30.0	3	3			物揚場	10	

管 理 者 名 施 設 名 称	係 船 能 力							
	取付け部 含む実延長 (m)	取付け部 除く総延長 (m)	水深 (-m)		重量トン (D/W)	船席	種類	エプロン 幅 (m)
			所定	現在				
日本通運(株)横浜支店 岸壁	124.4	124.4	6	6	1,500	1	岸壁	15.1
日本物流センター(株) 第1号岸壁	81.1	81.1	4.7	4.7	2,000	1	岸壁	
第2号岸壁	81.1	81.1	4.7	4.7	2,000	1	岸壁	
(有)根本造船所 浮棧橋	24.7	24.7	4	4	2,400		浮棧橋	
早来工営(株) 川崎支店棧橋	145.4	145.4	5	5	1,500	1	棧橋	14.7
物揚場	50.6	50.6	3.5	3.5			物揚場	
東日本旅客鉄道(株) 川崎発電所棧橋	115.0	115.0	7	7	3,000	1	棧橋	
日立造船(株)神奈川工場 C岸壁	40.7	40.7	6	6	26,000	1	岸壁	
(株)富二栄 3,000D/W級第1棧橋	20.0	67.0	7.1	7.1	3,000	1	棧橋	
3,000D/W級第2棧橋	16.5	82.0	7.1	7.1	3,000	1	棧橋	
第3岸壁	52.7	52.7	2.5	4.6	1,342		物揚場	
富士電機(株) 白石商品岸壁	197.5	197.5	6	5.5	2,000	1	岸壁	
三井埠頭(株) 石炭岸壁	378.0	378.0	10	10	22,000	3	岸壁	3
セメントドルフィン	24.0	68.0	9	9	10,000	1	棧橋	
* 南棧橋	257.0	257.0	12	12	30,000	1	棧橋	
三菱ケミカル物流(株)川崎製造所 棧橋	20.0	30.0	5.6	5.6	2,000	1	棧橋	
三菱化工機(株)川崎製作所 物揚場	21.5	21.5	2.1	2			物揚場	
小野建(株)川崎センター 岸壁	128.3	128.3	8	8	5,700	1	棧橋	22
(株)マルトモ 棧橋	5.5	16.0	1.5	1.5	300		棧橋	
(有)ワイ・エム・ティー 岸壁	41.8	41.8	3	2.4			物揚場	
海上災害防止センター 係船場	1.5	15.4	4	4			係船ぐい	

* 喫水の調整及び潮汐利用により88,000D/Wの船舶の入港実績があります。

川崎港のあゆみ

※社名等は当時のもの

西 暦	年 号	記 事
1618	元和 4 年	川崎領下新田開発（田島新田）
1624	寛永元年	池上幸広、多摩川下流海浜に新田開発を企画
1625	寛永 2 年	池上幸広・幸繁・石渡四郎兵衛等が大師河原開墾（稲荷新田）
1728	享保13年	池上幸定、祖父幸広・幸忠の筆記に自己の見解を加え「新田開発条々」を誌す
1746	延京 3 年	池上幸豊、開発面積100町歩余りの新田開発計画書を代官所に提出
1751	寛延 4 年	大島、塩浜、稲荷新田、川中島、大師河原村の5カ村、上記の計画を了承
1752	宝暦 2 年 11月	池上幸豊の新田（観音、塩浜）開発許可
1759	宝暦 9 年 6 月	池上幸豊の池上新田開発竣功
1779	安永 8 年	大島新田開発
1857	安政 4 年	田辺五右衛門、田辺新田開発
1859	安政 6 年 10月	横浜港開港
1864	文久 4 年	小島六左衛門、小島新田開発
1889	明治22年 4 月	全国に市町村制が施行、川崎町（新宿、砂子、小土呂、久根崎、堀ノ内）誕生
1892	明治25年 6 月	臨時横浜築港局設置
1894	明治27年	川島富右衛門及び勘左衛門、夜光新田開発
1899	明治32年 1 月	大師電気鉄道（株）（京浜急行）、六郷、大師間開業
1902	明治35年 5 月	添田和義他8名、町田村大字潮田小野新田の埋立免許取得
1906	明治39年 9 月	横浜製糖（株）創業
	11月	村野常右衛門他12名、大島及び渡田地先の埋立免許申請
1908	明治41年 9 月	東京電気（株）（東芝）創業
1909	明治42年 7 月	日米蓄音器（株）（日本コロムビア）創業
	12月	村野常右衛門他12名、大島及び渡田地先の埋立免許取得
1910	明治43年 2 月	岡田治衛武他29名、京浜運河開さく申請
	8 月	岡田治衛武他29名、大師河原字末広島地先の埋立申請
1911	明治44年 7 月	浅野総一郎、大師河原村字池上新田地先の埋立申請
	8 月	岡田治衛武他29名に京浜運河開さく許可
1912	明治45年 3 月	鶴見埋立組合結成
	6 月	日本鋼管（株）創業
	7 月	川崎町々会、会員協議会を開催、工場誘致を川崎町の町是とすることを決定、工場設置期成同盟結成
	大正元年 9 月	浅野総一郎、池上新田及び塩浜地先の埋立申請
1913	大正 2 年 9 月	浅野総一郎他19名、浅野埋立の根元をなす、大島、渡田、町田村及び田島地先の埋立申請
	11月	岡田治衛武他26名、池上新田及び塩浜耕地の埋立申請
1914	大正 3 年 3 月	鶴見埋築会社創設
1915	大正 4 年 1 月	富士瓦斯紡績（株）川崎工場創業
	7 月	浅野埋立許可
1917	大正 6 年 6 月	浅野セメント（株）川崎工場創業
	9 月	京浜運河（株）設立
1920	大正 9 年 1 月	鶴見埋築会社を東京湾埋立（株）と改称
	9 月	日本鑄造（株）創業
1921	大正10年 4 月	横浜港第二期修築工事着工
1922	大正11年 10月	日本港湾協会設立
1923	大正12年 9 月	関東大震災
	9 月	富士電機（株）川崎工場創業

西 曆	年 号	記 事
1924	大正13年 5月 7月	港湾調査会、関東大震災後の東京港修築計画と関連し京浜運河開さく計画可決 川崎町、御幸村及び大師町を合併し川崎市誕生
1925	大正14年 2月 4月 11月	横浜港の第三期修築工事着工 日清製粉（株）川崎工場創業 明治製菓（株）川崎工場創業
1926	大正15年 10月 昭和元年 12月 12月	京浜運河（株）と東京湾埋立（株）合併、社長に浅野総一郎就任 川崎河港（鈴木町）設置 東京電力（株）鶴見火力発電所創業
1927	昭和2年 4月 10月	橘樹郡田島町、川崎市に編入 臨時港湾調査会、京浜運河開さく修築計画に関する件を審議可決
1928	昭和3年 6月	浅野埋立竣工
1929	昭和4年 8月 11月	東京湾埋立（株）池上新田字入江崎地先埋立免許取得 東洋埠頭（株）、建設開始
1930	昭和5年 8月 8月	昭和肥料（株）（昭和電工）川崎工場創業 国鉄川崎発電所創業
1931	昭和6年 3月 11月 12月	日本電力（株）東京発電所（東電潮田火力）創業 早山石油（株）川崎製油所（昭和石油）創業 三菱石油（株）川崎製油所創業
1933	昭和8年 4月 8月 8月 11月	東京湾埋立（株）、大師漁業組合及び海苔採取業者組合と補償協定締結 土木会議官制設置 中原町、川崎市に編入 日本冶金（株）創業
1935	昭和10年 1月 5月 6月	土木会議、指定港湾の改良助成に関する方針議決 化工機製作所（三菱化工機）創業 富士通信機製造（株）創業
1936	昭和11年 5月	京浜臨海工業地帯造成事業（京浜運河開さく）の東京側、府営で施工に決定
1937	昭和12年 1月 4月 4月 5月 6月	神奈川県営（神奈川県地先）の京浜運河臨海工業地帯造成事業（京浜運河開さく）、10ヵ年継続事業として申請 高津町及び日吉村の一部、川崎市に編入 神奈川県知事半井清、大師漁業組合長松本喜久蔵と漁業補償協定締結 県営埋立、免許 橘村、川崎市に編入
1938	昭和13年 3月 8月 10月	県営埋立工事着工 特殊製鋼（株）川崎製造所創業 稲田、向丘、宮前及び生田村が川崎市に編入
1939	昭和14年 4月	柿生、岡上村が川崎市に編入
1940	昭和15年 6月	臨海工業地帯造成方針、土木会議で決定
1941	昭和16年 11月	県営埋立工事の第一工区、第二工区竣工
1942	昭和17年 12月 12月	扇島残さい埋立計画、10ヵ年計画で施工することに決定 日立造船（株）神奈川工場創
1943	昭和18年 1月 12月	都市計画大師臨海地帯土地区画整理事業実施 第三区（現千鳥町）、横須賀海軍施設部に売却
1944	昭和19年 4月 12月	扇島残さい埋立認可 神奈川県会、県営埋立事業の継続年限を3年延長することを決定
1945	昭和20年 8月 12月	第二次世界大戦終結 京浜工業地帯造成計画及び扇島残さい埋立計画中止
1946	昭和21年 12月	第三区（現千鳥町）に公共用港湾施設設置の承認願を神奈川軍政部に提出

西 曆	年 号	記 事
1947	昭和22年	1月 千鳥町の土地、建物の払下申請
		4月 千鳥町、輸入燐鉱石の陸揚場として指定
		8月 千鳥町の国有地、一時使用許可
		8月 運輸省、燐鉱石陸揚場整備のため横浜港整備費から360万円を分割、川崎市事業として実施することを決定
		11月 川崎市港湾設備使用条例等公布施行
		11月 川崎港湾諸施設の運営管理及び施設築造工事施工のため、復興部土木課管轄の川崎市臨時港湾事務所設置
1949	昭和24年	9月 行政管理庁及び地方自治庁、港湾管理に関する試案を提示
1950	昭和25年	2月 千鳥町の国有地払下げ、市会で承認
		5月 港湾法制定
		12月 港湾管理問題について岩本衆議院副議長、調停試案提示
1951	昭和26年	1月 全員協議会に管理案を説明、市が港湾管理者となることの了解を得る
		3月 港湾区域の認可申請
		6月 港湾区域認可され、川崎市が港湾管理者となる
		7月 土木部港湾課、港湾部の昇格、千鳥町に川崎港港務所設置
		8月 (財)川崎海員会館開館
		9月 特定重要港湾に指定
1952	昭和27年	9月 川崎市水道局、「運搬給水」業務開始
		9月 京浜工業地帯造成事業促進協議会発足
1954	昭和29年	1月 市営曳船「塩浜丸」建造
		12月 千鳥町A地区の払下申請
1955	昭和30年	5月 千鳥町B地区に公共物揚場建設に当り管理委託申請
		9月 神奈川県営工業地帯土地造成計画、川崎臨海工業地帯造成計画として、神奈川県企業庁で計画実施することに決定
1956	昭和31年	4月 港湾審議会第2回計画部会、川崎港将来計画を審議、承認
		9月 千鳥町の国有地払下げを受ける
1957	昭和32年	1月 漁業補償のあつ旋協議会、川崎漁業共同組合に協定額提示
		3月 大田区漁業協同組合と漁業補償協定締結
		4月 多摩川漁業組合と漁業補償協定締結
		6月 千鳥町の国有地、市有地と交換
		11月 神奈川県企業庁、川崎市及び東亜港湾工業(株)、川崎漁業協同組合と漁業補償協定締結
1958	昭和33年	11月 日本石油化学(株)他11社と千鳥町土地売買契約締結
		6月 市営千鳥町地先埋立申請許可
		10月 県営埋立の川崎臨港工業地帯造成事業第1工区(大師河原の一部)竣工
1959	昭和34年	3月 特定港湾施設工事特別会計が設けられ石油鉄鋼港湾の対象となった。
		6月 県営埋立の川崎臨海工業地帯造成事業第2工区(末広町)竣工
		7月 神奈川県、東亜港湾工業(株)に公有水面埋立権の一部譲渡
		8月 港湾部から港湾局に組織変更
		12月 県営埋立の川崎臨海工業地帯造成事業第3工区(浮島町の一部)竣工
1960	昭和35年	4月 市営埋立の千鳥町地先第1工区竣工
		8月 市、民間合同出資により川崎臨港倉庫(株)設立
		12月 日石化学(株)を中心に夜光町、千鳥町及び扇町に石油化学コンビナートを形成
1961	昭和36年	3月 市営埋立の千鳥町地先第2工区竣工
		3月 港湾整備緊急措置法制定
		4月 県営扇島埋立事業第1工区竣工

西 曆	年 号	記 事
1961	昭和36年 7月	東京電力（株）川崎火力発電所創業
1962	昭和37年 2月	第1次港湾整備5ヵ年計画決定
	3月	港湾共同事務所完成
	4月	県営扇島埋立事業第2工区竣功
	7月	法務省入国管理局横浜入国管理事務所川崎港出張所、千鳥町に設置
	7月	川崎臨港消防署千鳥町出張所設置
	8月	県営川崎臨海工業地帯造成事業の第4工区の1（浮島町の一部）竣功
	11月	京浜運河で第一宗像丸（出光興産）とサラルド・プロビグ号（ノルウェーのタンカー）が衝突炎上、死者39名重軽傷者12名の被害者
1963	昭和38年 3月	県営川崎臨海工業地帯造成事業の第4工区の2（浮島町の一部）竣功
	4月	川崎航路開設
	6月	神奈川臨海鉄道（株）創業
	7月	千鳥町4号係船岸竣功
	10月	県営川崎臨海工業地帯造成事業完成に伴う竣功式
	12月	市営千鳥町地先掘込埋立許可
1964	昭和39年 2月	県営川崎臨海工業地帯造成事業竣功
	3月	神奈川臨海鉄道塩浜～水江町、塩浜～千鳥町及び塩浜～浮島町間開通
	3月	塩浜操車場業務開始
	3月	横浜税関川崎支署庁舎、千鳥町に完成
	6月	市営千鳥町地先掘込埋立竣功
	6月	横浜海上保安部川崎信号所、川崎海上保安署に昇格、千鳥町に設置
	9月	国際海上V.H.F.海岸局の免許、関東電波管理局より取得
	9月	海面清掃船「第一清港丸」「第二清港丸」完成
	12月	（社）川崎清港会設立
	12月	東亜燃料工業（株）浮島シーバース完成
1965	昭和40年 4月	日本カーフェリー（株）、川崎～木更津間にフェリー就航
	6月	港湾労働法制定
	8月	第2次港湾整備5ヵ年計画決定
	9月	川崎港の臨港地区、建設省指定
	10月	「港湾管理者の財政基盤の強化及び港湾施設の効率的使用の確保のため緊急に実施すべき方策」について港湾審議会答申
1966	昭和41年 2月	多摩川河口に小型油槽船係留棧橋完成
1967	昭和42年 9月	雇用促進事業団、川崎港湾労働者福祉センターを桜本に完成
	9月	港湾審議会第30回計画部会、扇島東埠頭に係る改訂計画を審議、承認
	10月	川崎パイロットビル、千鳥町に完成
1968	昭和43年 3月	川崎港湾合同庁舎、千鳥町に完成
	3月	入港料制度の実施について六大港湾協議会、船主団体と協議したが、不調
	9月	運輸省・神奈川県・横浜市・川崎市及び扇交会、扇島沖埋立に伴う漁業補償の窓口として、京浜港中央地区漁業対策実行委員会設立
	11月	三菱石油（株）・昭和石油（株）共有の京浜川崎シーバース、扇島沖に完成
1969	昭和44年 3月	日本鋼管（株）・扇島埋立計画について知事及び横浜・川崎両市長に要望書提出
	3月	第3次港湾整備5ヵ年計画決定
	7月	神奈川県知事、横浜・川崎両市長、日本鋼管（株）の扇島計画の取扱いについて第1回首長会談開催
	7月	京浜港中央地区漁業対策実行委員会に日本鋼管（株）加入
	7月	神奈川県、横浜・川崎両市の関係者、日本鋼管（株）の扇島計画を協議するための扇島埋立対策協議会（後の扇島問題連絡協議会）を結成、会議開催

西 暦	年 号	記 事		
1969	昭和44年	7月 横浜植物防疫所川崎出張所、千鳥町に設置		
		8月 川崎港廃油処理場完成、業務開始		
		10月 横浜検疫所川崎出張所、千鳥町に設置		
		11月 千鳥運河内に増設中の小型油槽船係留棧橋完成		
		11月 「船舶の油による海水の汚濁の防止に関する法律」に基づき、運輸省、川崎港を		
1970	昭和45年	5月 我国初の廃油処理施設整備港湾に指定 運搬給水業務、水道局から港湾局に移管		
		7月 夜光町に建設中の小型油槽係留棧橋完成		
		8月 東亜燃料工業（株）扇島シーバース完成		
		11月 日本鋼管（株）京浜製作所主要部分の扇島移転に伴う公害防止対策について、 日本鋼管（株）、扇島問題連絡協議会と公害防止協定締結		
		12月 港湾審議会第44回計画部会、日本鋼管の扇島移転計画等に関する改訂計画を審議、承認		
1971	昭和46年	2月 （財）川崎港湾福利厚生協会、千鳥センター開設		
		3月 日本カーフェリー（株）川崎～宮崎間にフェリー就航		
		7月 日本鋼管（株）、川崎市に対し、京浜製作所の移転跡地のうち、大島工場、昭和工場の一部241,100㎡の有償提供を了承		
		9月 川崎、子安浜及び西神子安浜漁業協同組合と漁業補償協定締結		
		10月 日本鋼管（株）、専用海底トンネル工事着工		
		10月 運輸省第二港湾建設局、川崎港海底トンネル第1回設計会議開催		
		10月 生麦漁業協同組合と補償協定締結		
		10月 日本鋼管（株）による扇島埋立計画認可		
		12月 日本鋼管（株）、扇島埋立工事の起工式		
		1972	昭和47年	2月 海面清掃船「清港丸」完成
3月 第4次港湾整備5ヵ年計画決定				
5月 東扇島埋立計画承認				
7月 第1回川崎港海底トンネル技術委員会開催				
9月 川崎市公害防止条例、公布施行				
10月 日産自動車（株）他7社と東扇島埋立地売買契約締結				
11月 東扇島埠頭埋立工事起工式				
12月 海面清掃船「第二清港丸」廃船				
1973	昭和48年			2月 第2回川崎港海底トンネル技術委員会開催
				3月 新システムによる航路管制、全国で初めて川崎港で実施
		3月 測量船「ひばり」完成		
		4月 川崎漁業協同組合員の転業対策の一環とし、川崎漁港埋立地にゴルフ練習場オープン		
		11月 第3回川崎港海底トンネル技術委員会開催		
1974	昭和49年	1月 港湾区域の変更（拡張）認可		
		4月 巡視船「つばめ」完成		
		4月 川崎港港湾審議会条例制定（9月19日審議会発足）		
		6月 東扇島埋立第1工区竣工		
		6月 第1回川崎みなと祭、商工会議所と共催で開催		
		11月 深堀浚渫船「出島」浚渫作業開始		
		12月 日本鋼管（株）、扇島大橋の開通式		
		12月 日本鋼管（株）海底トンネル完成		
1975	昭和50年	3月 浮島地先廃棄物埋立計画認可		
		4月 東扇島埋立第2工区竣工		

西 暦	年 号	記 事
1975	昭和50年	5月 浮島地先廃棄物埋立外周護岸工事着工
		8月 日本鋼管（株）扇島埋立工事川崎市域分竣功
1976	昭和51年	8月 東京電力（株）と東扇島L.N.G.基地用地の売買契約締結
		3月 東扇島で、日本航空（株）H S S T実験施設の起工式
		4月 市営曳船「塩浜丸」廃船
		7月 日本鋼管（株）扇島原料岸壁に初入港船を迎え始動式
		8月 入港料の徴収について六大港湾管理者、船主団体と合意
		10月 第5次港湾整備5ヵ年計画決定
		11月 日本鋼管（株）扇島第1高炉の火入れ式
		12月 川崎市入港料条例制定
		12月 浮島地先廃棄物埋立処分場中仕切護岸工事着工
		1977
6月 東京湾岸道路計画、川崎市都市計画審議会で承認		
8月 川崎港海底トンネル沈埋函第1号函、千鳥町側の沈設		
8月 老朽化した千鳥町物揚場（-4.5m）改良工事着工		
8月 東京湾岸道路、都市計画決定		
1978	昭和53年	10月 浮島地先廃棄物埋立処分場中仕切護岸工事竣功
		1月 （社）川崎清港会、事務所を千鳥町に移転
		6月 浮島地先廃棄物埋立処分場に清掃局浮島埋立事業所開設、受入れ開始
1979	昭和54年	11月 川崎港海底トンネル最後の沈埋函（第8号函）、東扇島側に沈設
		1月 川崎港海底トンネル貫通式
		2月 東亜燃料工業（株）浮島シーバース海底配管移設工事着工
		3月 川崎航路白灯台傾斜修正工事完了
		5月 千鳥町7号岸壁にR O R O船「スコーグラン号」（31,000G/T）初入港
		5月 東扇島埋立第3工区の1、第6工区の1竣功
		6月 千鳥地区防災協議会防災センター完成
		7月 日本鋼管（株）扇島第2高炉の火入れ式
		10月 台風20号襲来、満潮時と重なり工事中の浮島地先廃棄物埋立セル護岸の中詰等一部被災
		10月 川崎港海底トンネル開通式
		11月 東扇島1号岸壁供用開始、初入港船R O R O船「海龍」（4,100G/T）入港
1980	昭和55年	1月 浮島地先廃棄物埋立処分場水処理仕切工事着工
		3月 港湾審議会第89回計画部会、危険物取扱施設（専用）の港湾計画を審議、承認
		5月 川崎港海底トンネル工事、土木学会及び日本港湾協会から技術賞受賞
		6月 東京電力（株）東扇島L.N.G.基地工事着工
		10月 港湾局東扇島管理事務所開設
		11月 東亜燃料工業（株）浮島シーバース配管移設工事竣功
		11月 東扇島1号岸壁供用開始
1981	昭和56年	3月 第6次港湾整備5ヵ年計画決定
		4月 浮島つり園開園式
		4月 東扇島倉庫用地第1次分譲、物流企業15社と売買契約締結
		5月 東扇島埋立第3工区の2、第6工区の2竣功
		11月 川崎港開港30周年を記念し、千鳥町で練習帆船「海王丸」の見学会開催
1982	昭和57年	11月 東扇島2号岸壁供用開始
		3月 巡視船「あおぞら」完成
		4月 浮島地先廃棄物埋立処分場に港湾局浮島建設事務所開設、公共残土の受入れ開始
		4月 東扇島21号岸壁供用開始
		5月 浮島地先廃棄物埋立処分場内に水処理仕切完成

西 曆	年 号	記 事		
1982	昭和57年	6月 東扇島3号岸壁供用開始		
		12月 千鳥町物揚場改良工事竣功		
1983	昭和58年	2月 東扇島22号岸壁供用開始		
		3月 浮島地先廃棄物埋立処分場外周護岸工事（開口部を除く）竣功		
		4月 東扇島埋立第3工区の3、第6工区の3竣功		
		4月 東京電力（株）と鶴見、潮田火力発電所のリプレイス用地として東扇島埋立地売買契約締結		
		7月 東扇島4号岸壁供用開始		
		7月 ちどり公園一部開園		
		8月 港湾審議会第103回計画部会、東扇島コンテナバース等の港湾計画を審議承認		
		8月 東扇島倉庫用地第2次分譲、11社と売買契約締結		
1984	昭和59年	1月 東京電力（株）L.N.G.棧橋に「テナガサツ号」（68,085G/T）初入港		
		4月 東扇島24号岸壁供用開始		
		5月 東扇島5号岸壁供用開始		
		6月 交通局、東扇島循環バス路線開設		
		7月 東扇島25号岸壁供用開始		
		7月 東京電力（株）東扇島L.N.G.基地完成		
		9月 東扇島をメイン会場として、第5回6都県市合同防災訓練開催		
		11月 東扇島23号岸壁供用開始		
		1985	昭和60年	2月 海面清掃船「つばき」完成
				4月 川崎漁業協同組合、解散記念碑建立
				6月 海面清掃船「清港丸」廃船
12月 東扇島倉庫用地第3次分譲、14社と売買契約締結				
1986	昭和61年	5月 東扇島26号、27号岸壁供用開始		
		7月 東扇島6号岸壁供用開始		
		10月 大川、白石町地区の都市再開発用地、取得契約締結		
1987	昭和62年	3月 東扇島北公園完成		
		3月 千鳥町5号係留棧橋改修工事竣功		
		6月 川崎港振興協会設立		
		9月 千鳥町6号係留棧橋改修工事竣功		
		9月 東京電力（株）東扇島火力発電所完成		
		10月 大川、白石町地区の都市再開発用地、31社と売買契約締結		
		11月 三井埠頭（株）堀込埋立工事竣功、南棧橋供用開始		
1988	昭和63年	3月 浮島地先埋立第1工区竣功		
		3月 船客待合所（建替）竣功		
		3月 千鳥町3号係留棧橋改修工事竣功		
		4月 東扇島埋立第4工区の1、第5工区の1、第6工区の4の1竣功		
		5月 東扇島28号岸壁供用開始		
		6月 東扇島倉庫用地第4次分譲、15社と売買契約締結		
		8月 近海郵船（株）川崎～苫小牧内航定期航路開設		
		10月 大川、白石町地区の都市再開発用地、14社と売買契約締結		
		1989	平成元年	3月 東扇島29号岸壁供用開始
				3月 東扇島埋立第6工区の4の2竣功
				3月 千鳥町7号係留棧橋改修工事竣功
3月 千鳥町4号係留岸壁改修工事竣功				
11月 東扇島30号岸壁及びA、B、C、D岸壁供用開始				
12月 東扇島7号岸壁供用開始				

西 曆	年 号	記 事
1990	平成2年	3月 東扇島埋め立て第4工区の2、第5工区の2、第6工区の4の3竣功
		3月 東扇島中公園竣功
		3月 東扇島6番地1地先埋立竣功
		3月 浮島地先埋立第2工区、第3工区竣功
		11月 浮島地先埋立区域分割許可
1991	平成3年	3月 浮島地先埋立第4工区、第5工区の2、第6工区の1竣功
		3月 港湾審議会第135回計画部会、浮島2期廃棄物処分場に関する計画及び船舶の大型化に対応した東扇島コンテナバースの計画等の港湾計画を審議、承認
		6月 川崎市港湾振興会館、市民から愛称募集し「川崎マリエン」に決定
		9月 浮島町地先埋立用途変更、期間伸長、設計変更及び区域分割許可
		10月 川崎港開港40周年記念事業、東扇島で帆船「海王丸」見学会等のイベント実施
		10月 浮島町地先埋立第5工区の1の1、第5工区の5の1、第6工区の2の1竣功
		12月 川崎港振興協会、関東運輸局から社団法人認可
1992	平成4年	3月 川崎市港湾振興会館開館
		3月 浮島町地先埋立第5工区の5の2竣功
		3月 川崎市港湾振興会館条例制定（平成4年3月26日公布施行）
		5月 ベトナム・ダナン市代表団が来川し、友好港湾都市の提携仮調印
		9月 浮島町地先埋立第5工区の5の3、第6工区の2の2竣功
		12月 ベトナム・ダナン市にフォークリフト、自転車寄贈
		12月 川崎都市計画臨港地区の分区指定
1993	平成5年	2月 帆船「海王丸」が寄港し、一般公開
		4月 東扇島8号岸壁供用開始
1994	平成6年	1月 「川崎港・ダナン港との友好港提携」をベトナム・ダナン市において本調印
		1月 かわさき港コンテナターミナル株式会社設立に向け発起人会設立
		3月 輸入の促進及び対内投資事業の円滑化に関する臨時措置法に基づく「川崎市地域輸入促進計画」が通商産業省、運輸省、農林水産省、自治省の各大臣承認
		3月 浮島町地先埋立第6工区の2の3竣功
		5月 「かわさき港コンテナターミナル株式会社」を設立
		12月 高速湾岸線（首都高速道路）開通（東京・羽田－川崎・東扇島－横浜・大黒）
1995	平成7年	12月 浮島2期地区埋立免許取得
		2月 東扇島保管施設等用地分譲 10社と売買契約締結
		3月 浮島2期廃棄物埋立護岸の建設に着手
		3月 浮島町地先埋立第5工区の1の2、第5工区の3、第5工区の4、第5工区の5の4竣功
		3月 「かわさきファズ株式会社」を設立
		5月 東扇島福利厚生センター開設
		12月 浮島町地先埋立第5工区の1の3竣功
1996	平成8年	3月 浮島町地先埋立第5工区の5の5・第6工区の6の2竣功
		3月 川崎コンテナ1号岸壁及びコンテナターミナル完成・内覧会・祝賀会開催
		4月 川崎コンテナ1号岸壁供用開始
		4月 香港に「市港湾局海外連絡事務所」を開設
		5月 外貿コンテナ定期航路開設 航路 日本・台湾・香港
		7月 外貿コンテナ定期航路開設 航路 日本・韓国
		9月 東燃（株） 浮島シーバース移設工事完成
1997	平成9年	3月 「東扇島地区耐震バース（-12m・-7.5m）完成記念式典」を運輸省第二港湾建設局と川崎市との共催で開催
		4月 東扇島31号岸壁供用開始
		4月 (株)マリンエクスプレス 川崎～木更津航路廃止

西 暦	年 号	記 事
1997	平成9年	8月 川崎港セミナー初開催
		10月 東扇島9号岸壁共用開始
		11月 ベトナム・ダナン港に技術協力調査
		12月 東京湾横断道路（アクアライン）開通
1998	平成10年	4月 「かわさきファズ物流センター」事業開始
		4月 外貿コンテナ定期航路開設 航路 日本・インドネシア
		7月 姉妹都市ボルチモア市との交流事業、帆船「プライドオブボルチモアII世号」寄港
		11月 東扇島防波堤完成
		12月 外貿コンテナ定期航路開設 航路 日本・東地中海
		12月 豪華外航客船「おりえんとびいなす」初入港、クリスマスクルーズ・船内見学会実施
1999	平成11年	2月 「川崎港東扇島地区防波堤完成記念式典」を運輸省第二港湾建設局主催で開催
		3月 東扇島緑道完成
		10月 港湾EDI開始
		10月 友好港ベトナム・ダナン港に技術協力調査
		11月 東京電力（株）と扇島の市有地の売買契約締結
		12月 豪華外航客船「おりえんとびいなす」入港し、クリスマスクルーズ・船内見学会実施
2000	平成12年	1月 東扇島保管施設用地分譲（株）宝組と売買契約締結
		3月 港湾審議会第171回計画部会、東扇島・水江町間の臨港道路に関する計画及び東扇島堀込部埋立計画等の港湾計画を審議、承認
		3月 海面清掃船「つばき」に油回収装置完成
		4月 港湾法50年ぶり大改正
		4月 浮島2期廃棄物処理場で公共残土等の受入開始
		6月 外貿コンテナ定期航路開設 日本・東南アジア航路 船社「WANHAIラインズ」
		7月 豪華客船「飛鳥」が東扇島に初入港、船内見学会等を実施
		12月 豪華客船「ばしふいっくびいなす」初入港し、クリスマスクルーズ・船内見学会実施
2001	平成13年	1月 第51回全国統計大会において、川崎市が港湾統計で運輸大臣表彰を受賞
		2月 外貿コンテナ定期航路開設 日本・青島航路
		7月 客船「飛鳥」入港、ワンナイトクルーズ・船内見学会実施
		9月 市民参加による東扇島東公園づくりワークショップを開始
		10月 東扇島サッカー場オープン
		11月 川崎港開港50周年記念、独立行政法人「航海訓練所」訓練船『日本丸』見学会実施
		11月 客船「おりえんとびいなす」入港、ワンナイトクルーズ・船内見学会実施
		11月 客船「飛鳥」入港、チャータークルーズ・船内見学会実施
2002	平成14年	3月 川崎港運協会等と「災害時における救援活動に関する協定」の締結
		7月 夏休み川崎港見学会（以後毎年開催）
		7月 基幹的広域防災拠点に東扇島地区を指定
		9月 東扇島コンテナ1号岸壁延長工事終了「告示」の一部改正（431mに延長）
2003	平成15年	4月 川崎港が総合静脈物流拠点港（リサイクルポート）に指定
		5月 川崎市及び神奈川県が「国際臨空産業・物流特区」に認定
		6月 かわさきファズ物流センター内に東京検疫所川崎検疫支所開設
		10月 東扇島サッカー場閉鎖
		11月 ベトナム・ダナン市代表団 第30回川崎みなと祭りに参加 近海郵船物流（株）川崎～苫小牧航路廃止

西 曆	年 号	記 事			
2004	平成16年	1月	かわさき港コンテナターミナル（株）破産申立		
		3月	かわさき港コンテナターミナル（株）破産宣告		
		4月	東扇島西公園全面オープン		
		4月	川崎港海底トンネルの人道一般開放		
		7月	海上人命安全条約（S O L A S条約）改正による川崎港の保安対策を強化		
		9月	トランスファークレーンを市が取得		
		10月	港湾施設に泊地を追加		
		12月	かわさき港コンテナターミナル（株）破産手続き終了		
		2005	平成17年	1月	ミュージア川崎シンフォニーホールにて「うみべフォーラム」開催
				1月	東扇島東緑地（基幹的広域防災拠点）着工式
				3月	構造改革特別区域法に基づく規制の特例措置（臨時開庁手数料の軽減による貿易の促進事業）実施
				6月	構造改革特別区域法に基づく規制の特例措置（税関の執務時間外における通関体制の整備による貿易の促進事業）実施
6月	（株）マリンエクスプレス京浜航路廃止				
10月	南極観測船「しらせ」が第32回川崎みなと祭りに初入港				
10月	世界最大級の雄のホオジロザメが千鳥町に漂着・剥製化				
11月	夜間入港制限の緩和措置実施				
12月	京浜港コンテナ輸送効率化検討委員会により、川崎港コンテナターミナルを利用した実証実験実施				
2006	平成18年			7月	川崎港ふ頭建設事務所が川崎マリエン内に移転
				9月	川崎港廃油処理場が廃止
				11月	「川崎港千鳥町再整備の基本的な考え方」策定
2007	平成19年	1月	「東扇島総合物流拠点地区形成計画」策定		
		3月	川崎港と千葉港間でコンテナ内航フィーダーが開始		
		4月	川崎港の臨港地区内の分区における構築物の規制に関する条例の改正		
		6月	東扇島総合物流拠点地区第一期（①・②・③区画）公募開始		
		8月	②・③区画の事業予定者決定 ②区画 POSCO-JYPC（株） ③区画 山九（株）		
		10月	ベトナムホーチミン市で川崎港セミナー開催		
		12月	かわさきファズ物流センター新棟（C棟）竣工		
		2008	平成20年	3月	東扇島総合物流拠点地区第一期①区画再公募事業予定者決定 ① C区画 （株）ヨコロジ ① D区画 （株）ニチレイロジグループ本社
3月	川崎港、横浜港、東京港の広域連携強化に係る基本合意書締結				
4月	港湾施設についての延命化のための維持管理計画策定業務に着手				
4月	東扇島東公園の開園により約50年ぶりに砂浜が復活				
8月	東扇島総合物流拠点地区第一期②区画 POSCO-JYPC（株）川崎コイルセンター竣工				
9月	京浜港利用促進セミナー開催（長野県松本市）				
9月	京浜港経営協議会及び京浜港広域連携推進会議設置等に関する三首長合意				
10月	東扇島で市内初のトリアスロン大会開催				
10月	東扇島東公園の人工海浜でビーチバレーエキシビジョンマッチ開催				
10月	第59回全国統計大会において、川崎市が港湾統計で国土交通大臣表彰を受賞				
2009	平成21年			2月	京浜港セミナー開催（東京都千代田区）

西 暦	年 号	記 事		
2009	平成21年	4月 京浜三港間を複数寄港するコンテナ船の入港料の減免（一港化）及び徴収窓口一元化開始		
		6月 京浜三港と八戸港の連携に関する協定締結		
		8月 川崎市長杯ジャパンビーチバレーサテライト神奈川大会（女子）開催		
		8月 京浜三港と八戸港間に就航する内航フィーダー船に係る入港料の相互免除を実施		
		9月 千鳥町2号上屋取り壊しのため供用終了		
		9月 京浜港利用促進セミナー開催（群馬県太田市）		
		11月 シンガポール港で川崎港セミナー開催		
		12月 京浜港連携協議会設置		
		2010	平成22年	2月 千鳥町5号岸壁供用開始
				2月 山九株式会社首都圏物流センター竣工
				2月 京浜港セミナー開催（東京都千代田区）京浜港共同ビジョン発表
				3月 千鳥町5号岸壁背後C-14荷捌き地供用開始
4月 東扇島東公園人工海浜で潮干狩りオープニングセレモニー				
4月 多摩川係留棧橋廃止				
8月 全日本ビーチバレー大学男女選手権大会開催（平成25年を除き、以後毎年開催）				
8月 国際コンテナ戦略港湾に京浜港を選定				
8月 千鳥町再整備計画の策定				
9月 京浜港利用促進セミナー開催（宮城県仙台市）				
10月 JBVツアー2010ビーチバレー川崎市長杯開催（以後毎年開催）				
11月 川崎港海底トンネル液状化対策工事完了				
2011	平成23年	12月 千鳥町2号岸壁改良工事着工		
		1月 京浜港セミナー開催（東京都千代田区）		
		2月 東扇島総合物流拠点地区第二期公募事業予定者決定 ④A区画 郵便事業（株） ④B及びC区画 （株）松岡 ⑤A区画 山手冷蔵（株） ⑤B区画 （株）マルハニチロ物流 ⑥区画 荒井商事（株）		
		2月 東扇島総合物流拠点地区第一期①D区画 （株）ニチレイ・ロジスティクス関東 東扇島物流センター竣工		
		3月 東日本大震災		
		4月 港湾法改正により、国が京浜港を国際戦略港湾に指定		
		7月 震災復興に向けた海上コンテナ輸送補助制度実施		
		8月 学識経験者による「川崎港海底トンネル維持管理計画策定検討委員会」の開催		
		9月 宮城県女川町へ職員の災害派遣を開始		
		9月 川崎マリエントレーニング室開設		
		9月 川崎マリエンが「JOC認定バレーボール競技強化センター」に認定		
		9月 京浜港連携協議会にて「京浜港の総合的な計画」を策定		
10月 『川崎港のあゆみ（改訂版）』上梓				
2012	平成24年	11月 京浜港の集い開催（川崎港、東京港視察）		
		11月 川崎港利用促進コンテナ貨物補助制度実施		
		11月 神奈川倉庫協会と「災害時における緊急措置の支援に関する協定」を締結		
		1月 京浜港の集い開催（川崎港、横浜港視察）		
		3月 国土交通省関東地方整備局と「川崎港東扇島地区港湾広域防災施設等の管理に関する協定書」の締結		
		4月 川崎マリエン「展望室 ジオラマ」リニューアル		

西 暦	年 号	記 事
2012	平成24年	5月 中国青島港等との新規コンテナ定期航路の開設
		6月 「国際コンテナ戦略港湾京浜港を活用した地域再生計画」が内閣総理大臣により認定
		10月 中国上海港等との新規コンテナ定期航路の開設
2013	平成25年	10月 京浜港の集い開催（川崎港、東京港視察）
		1月 東扇島総合物流拠点地区第二期④B地区及び④C地区 （株）松岡 東京湾岸物流センター竣工
		3月 中国深セン港等との新規コンテナ定期航路の開設
		3月 日本埋立浚渫協会関東支部と「災害時の緊急対策業務に関する協定」を締結
		3月 神奈川倉庫協会と「災害時における緊急措置の支援に関する協定」の締結
		4月 東扇島総合物流拠点地区第二期⑤A区画 山手冷蔵（株）川崎ロジスティックセンター竣工
		4月 東扇島総合物流拠点地区第二期④A区画 日本郵便（株）川崎東郵便局竣工
		5月 川崎臨港倉庫埠頭（株）と千鳥町再整備計画に係る土地交換契約締結
		7月 東扇島総合物流拠点地区第一期①D区画 （株）ロジスティクス・ネットワーク 東扇島物流センター竣工
		11月 千鳥町において川崎臨港倉庫埠頭（株）の新倉庫・事務所工事着工
2014	平成26年	1月 川崎臨港倉庫埠頭（株）が特例港湾運営会社に指定
		1月 東扇島総合物流拠点地区第二期⑤B区画 （株）マルハニチロ物流 川崎第三物流センター竣工
		3月 川崎港コンテナターミナルにコンテナクレーン3号機を設置
		3月 J F E スチール（株）と「災害時における応急復旧資材の供給協力に関する協定」を締結
		4月 川崎臨港倉庫埠頭（株）による川崎港コンテナターミナル管理運営開始
		5月 ビーチバレーボールアジア競技大会日本代表決定戦開催
		9月 中国大連港等との新規コンテナ定期航路の開設
		9月 川崎港港湾計画の改訂について、第50回川崎港港湾審議会に諮問し、適当であるとの答申
		10月 J A 全農との土地売買契約により循環資源用地の取得（千鳥町25-1）
		11月 千鳥町において川崎臨港倉庫埠頭（株）の埠頭1号倉庫、ポートサイドカワサキ（事務所棟）竣工、本社を移転
		11月 川崎港港湾計画の改訂について、第58回交通政策審議会港湾分科会において審議され、国土交通大臣から、変更を求めないとの通知
		12月 臨港道路東扇島水江町線条例環境影響評価手続き完了
2015	平成27年	3月 上海港・ハイフォン港等との新規コンテナ定期航路の開設
		3月 臨港道路東扇島水江町線現地工事着手
		4月 水江町公園が経済労働局から移管
2016	平成28年	1月 港湾隣接地域の指定及び変更
		3月 国が横浜川崎国際港湾株式会社を港湾運営会社に指定
		3月 横浜川崎国際港湾株式会社へ出資
		3月 緊急物資等輸送用浮棧橋（東扇島側）完成
		4月 横浜川崎国際港湾・川崎臨港倉庫埠頭共同事業体による川崎港コンテナターミナル管理運営開始
2017	平成29年	3月 千鳥町共同事務所A棟ほか解体撤去完了
		9月 「みなとオアシス川崎」が新規登録
2018	平成30年	2月 中国太倉港等との新規コンテナ定期航路の開設

西 曆	年 号	記 事
2018	平成30年	3月 東扇島地区公有水面埋立免許の取得（東扇島堀込部）
		3月 川崎マリエンがビーチバレーボールの「ナショナルトレーニングセンター（NTC）競技別強化拠点」に指定
		3月 東海旅客鉄道株式会社と「東扇島堀込部土地造成事業に伴う護岸築造工事及び埋立管理等の施行に関する基本協定書」締結
		4月 タイレムチャバン港等との新規コンテナ定期航路の開設
		4月 中国（華南）・台湾・東南アジア（ポートケラン等）との新規コンテナ定期航路の開設
		5月 J A全農たまご株式会社と千鳥町再整備計画に係る土地交換契約締結
		7月 東扇島堀込部公有水面埋立工事着手
2019	平成31年	1月 川崎港コンテナターミナルトランスファークレーン（RMG）5・6号機更新
		3月 千鳥町共同事務所B棟ほか解体撤去完了
令和元年	令和元年	3月 友好港であるベトナムダナン港との定期航路開設
		7月 川崎港の利用促進のため、市長が東南アジアを訪問。トップセールスを実施するとともに、友好港ベトナムダナン港を表敬訪問。ダナン市人民委員会委員長と会談。
		9月 国土交通省関東地方整備局長、各関東圏港湾管理者等と「港湾での災害時における災害応急対策業務に関する包括的協定書」の締結

主要港との港勢比較表

港名称	船舶データ (単位：隻/万総トン)						海上出入貨物データ			
	合計			外航船		内航船		合計		
	隻数	総トン数	順位	隻数	総トン数	隻数	総トン数	順位	輸移出	
名古屋港	32,576	23,371	2	7,753	19,237	24,823	4,135	1	19,444	8,860
千葉港	47,013	13,611	5	3,662	9,033	43,351	4,578	2	14,001	3,797
横浜港	32,295	29,897	1	9,455	25,908	22,840	3,989	3	11,062	4,413
苫小牧港	14,017	8,804	9	1,015	1,778	13,002	7,026	4	10,729	4,565
北九州港	53,766	9,694	8	3,867	5,239	49,899	4,455	5	9,860	3,946
神戸港 *	31,305	18,801	3	6,634	14,170	24,671	4,631	6	9,401	4,081
東京港	23,382	17,991	4	5,247	13,406	18,135	4,585	7	8,781	2,779
大阪港 *	22,653	11,507	6	5,043	7,669	17,610	3,837	8	8,551	3,110
水島港 **	29,303	8,497	10	2,493	5,812	26,810	2,685	9	8,059	2,813
川崎港	19,595	9,816	7	2,802	7,670	16,793	2,147	10	7,939	2,155
堺泉北港	30,678	7,804	12	1,644	4,518	29,034	3,285	11	6,925	2,170
四日市港 *	17,467	6,359	13	1,811	4,889	15,656	1,470	12	6,084	1,970
徳山下松港 **	24,157	3,984	19	1,679	2,057	22,478	1,926	13	5,060	1,958
仙台塩釜港 **	29,031	5,907	14	1,160	2,242	27,871	3,665	14	4,420	1,470
和歌山下津港 **	11,431	4,100	18	831	2,520	10,600	1,580	15	3,540	1,273
博多港	28,330	7,981	11	3,938	5,875	24,392	2,106	16	3,487	1,285
新潟港 *	10,910	4,220	17	868	1,522	10,042	2,698	17	3,169	824
姫路港 **	27,039	2,553	20	628	1,563	26,411	991	18	3,030	598
清水港	8,628	5,027	15	1,961	3,836	6,667	1,191	19	1,686	573
室蘭港 *	4,270	1,874	21	439	1,136	3,831	738	20	1,626	519
広島港 **	46,534	4,675	16	1,349	2,955	45,185	1,720	21	1,406	789
伏木富山港 **	3,049	912	23	724	730	2,325	182	22	674	147
下関港 **	33,941	1,136	22	1,228	779	32,713	357	23	436	187

※港名に*を伴うものは速報値、**を伴うものは国土交通省により港湾統計港別集計値として公表された数値を集計したものです。

※速報値等については、後日数値が変動する可能性があります。

※税関データは全国の税関の資料によるものです。

※数字の単位未満は四捨五入しているため、合計の数字と内訳の数字が一致しない場合があります。

(単位：万トン)							税関データ (単位：億円)			
輸移入	外 貿 貨 物			内 貿 貨 物			合 計		輸 出	輸 入
	計	輸 出	輸 入	計	移 出	移 入	順位			
10,584	12,638	5,285	7,353	6,806	3,574	3,231	1	173,916	123,068	50,849
10,204	8,378	931	7,447	5,623	2,866	2,757	7	39,861	7,180	32,682
6,649	7,994	2,965	5,030	3,068	1,448	1,620	3	118,381	69,461	48,920
6,164	1,748	118	1,630	8,981	4,447	4,534	16	9,303	1,438	7,865
5,914	3,065	728	2,337	6,795	3,218	3,577	11	23,483	12,119	11,364
5,320	5,151	2,293	2,859	4,249	1,788	2,462	4	88,675	55,571	33,103
6,002	4,849	1,273	3,576	3,931	1,505	2,426	2	173,151	58,237	114,913
5,441	3,567	901	2,666	4,983	2,208	2,775	5	85,524	37,742	47,781
5,246	4,964	930	4,034	3,095	1,883	1,212	12	21,266	8,550	12,717
5,783	5,357	840	4,517	2,581	1,315	1,266	8	34,739	11,167	23,571
4,754	2,442	388	2,054	4,482	1,782	2,700	14	18,472	4,398	14,073
4,113	4,019	463	3,556	2,064	1,507	557	10	24,229	8,361	15,869
3,102	1,935	339	1,596	3,126	1,619	1,506	17	8,237	4,194	4,043
2,950	1,544	175	1,369	2,876	1,295	1,581	15	10,179	2,320	7,859
2,267	2,055	500	1,555	1,485	773	712	18	7,781	4,511	3,269
2,202	2,028	885	1,142	1,459	400	1,060	6	40,238	29,773	10,465
2,345	1,459	98	1,360	1,710	725	985	21	6,216	1,030	5,186
2,431	1,777	77	1,700	1,253	522	731	20	6,265	1,743	4,523
1,114	999	369	630	688	204	484	9	28,460	18,239	10,220
1,107	881	109	771	746	410	335	23	1,764	631	1,133
617	600	449	151	807	341	466	13	18,822	14,436	4,386
527	514	123	390	160	24	136	22	3,564	1,588	1,976
249	258	107	151	177	80	97	19	7,058	4,775	2,283

川崎港統計年報

令和元年（2019年）

編集・発行

川崎市港湾局港湾振興部誘致振興課

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

電話：044-200-3064・3069

F A X：044-200-3981

E-mail：58yuuti@city.kawasaki.jp

<https://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/29-6-1-5-0-0-0-0-0-0.html>